

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症心身障がい児 福祉ルームみらい野芥		
○保護者評価実施期間	R6年12月1日		R7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	R6年12月1日		R7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児の受け入れが出来ている。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児受け入れる為の看護師配置があり、他職種により専門的な支援が受けれる。 ・連絡帳などその日実施した医療ケアなど細かく記載し保護者との共有をしている。 ・主治医からの指示書をもとに医療ケアの実施を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的支援実施計画書の作成など行い、支援の充実を図っている。 ・福祉サービスについての知識や技術を深め、家族の相談や助言が行えるように努める。
2	職員が内部研修や外部研修を受講する機会が確保されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修など受講する際は、研修制度を設けており受講しやすい環境を作っている。 ・オンラインでの研修参加が行えるように環境を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝達研修や研修の講師を行うことにより、職員の質の向上を図る。 ・内部研修の年間計画を立て職員が参加しやすい環境設定を行う。
3	毎回支援目標を立てるなど、支援会議を行う機会を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員皆で支援目標を考えることで、統一した支援が出来る。 ・終礼の際は支援目標に対して「良かった点」「悪かった点」「子どもの反応」など意見を出し合い次回に活かせるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を出し合うことで職員の質の向上を図ることやモチベーションアップを行う。 ・会議に参加できなかった職員に関して情報共有するなどのスキルアップを目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や保護者やきょうだいの交流が出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策強化のため。 ・福祉サービスや訪問看護等のスケジュールが違う為交流会の日程調整が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策に気をつけながらきょうだい交流や地域交流が行えるように検討する。 ・保護者様に交流会のニーズを確認し、必要であれば検討していく。
2	子どもに対する家族の対応力向上のための「ペアレントトレーニング」等や家族が参加できる研修の場の提供及び情報提供が弱い。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様から個別相談に対するアドバイスや助言は出来ているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みが弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族様に研修などニーズを確認し、必要であれば検討していく。 ・個別に相談されることは引き続き行い、相談しやすい関係性の構築に今後力を入れていく。
3	外出支援があまりできていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策強化の為実施が出来ていなかった。 ・医療的ケア児が多数おり、ケアの時間がそれぞれ異なっていた為、外出支援が難しい。 ・休校日のスケジュールなど詰まっていたため外出の機会が持てていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出する際のスケジュールを見直ししていく。 ・外出する際は医療的ケアの内容を事前に保護者様に相談する。 ・近場でなおかつ短時間で外出できる場所がないか調べていく。